



～小須戸祭りの自慢の燈籠 勇み男が忘れぬ～ (盆唄から) ファイト満々、若衆連!

伝統行事紹介

「心に感動と活力を呼ぶ小須戸祭り」

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

いよいよ今年も三百五十余年の伝統を誇る小須戸祭り(通称・喧嘩燈籠)が、八月二十四日、二十五日の二日間盛大に行われます。さて、今回は地元の方々からこの小須戸祭りについて率直な意見や感想を、聞いてみることにしました。

喧嘩燈籠について数人の方にインタビューしてみました

「喧嘩燈籠に関わりのある方の声」

●古老のお話
「喧嘩燈籠の魅力は松、竹、梅、桜の各組ごとの力の出し合いで、押し合いの時、ぶつける時が一番の魅力から」と「喧嘩燈籠といっても、大

喧嘩しても決して後腐れは残らない。これが昔からの伝統だよ」

●四十代で参加されている方
「昔からの伝統的な文化を守っていくことや祭りを受け継いでいくことの世代に残していくことも町民の仕事だと思っ

●三十代で参加されている方
「若い人同士の横の付き合いが今、ねえなってきた。元小須戸に住んでいて県外からわざわざ燈籠を担ぎにくる仲間もいるんだけど」

「見物する側の声」
●毎年子どもを連れて喧嘩燈籠を見物しているお母さん
「また、この時期がやってきた感じがして、押し合いを楽しみにしています」

「血の気の盛んな若い人たちの勢いを見て、いい祭りだと思

●子ども燈籠(ミニ燈籠)
が楽しかったという、声がお母さん方から多くありました。

●地元の女子高校生
「喧嘩燈籠は、格闘技とか好きなんで見ておもしろいですよ。でも、だんだん祭り全体が昔よりも活気がなくなっている気がするんですよ。高校生も参加できるイベントも考えてほしい」

「巫女さんとか天狗の格好をした行列は、珍しいので止めないでほしい」

●喧嘩燈籠の、3つの共通点
小須戸祭りについてインタビュ

をしながら、共通点が、

ちょこっと一言 (161)

絵本の楽しみ

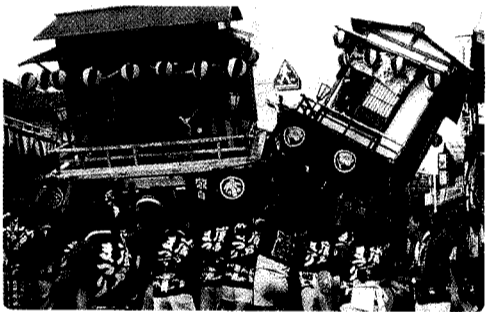
私は本を読むことが好きです。ですから、子供が生まれたら、絵本をたくさん読んであげたいと思っています。実際に子供が生まれ、早い時期から絵本をあえていました。最初はおもちゃのひとつで、なめたり、かじったりされてボロボロになってしま

船戸

皆川実穂子さん



することもありました。でも、不思議なことに、その絵本は今では子供の大好きな本のひとつになっています。一歳を過ぎた頃から、少しずつ親子で絵本を楽しめるようになりました。今では、大事なコミュニケーションのひとつとなつたことを、とてもうれしく思います。現在、第二子を妊娠中なので、お腹の子供も一緒に楽しんでくれているといいなと思っています。



本番に向け、意気盛んなニアミス

三つあることに気が付きました。

一つ目は普段、隣近所に住んでいて顔を会わせない人でもお祭りを通していろんな人と顔見知りになり世代をこえてコミュニケーションがとれるということ。

このことは、よその組に負けないように地域の人達とみんなが力を合わせて燈籠を担ぎ一体感を感じ、祭り自体が地域としての結束力を示す場でもあり、これからの時代に益々祭りの必要性を感じました。

二つ目は、今、どの組も燈籠を担ぐ若い衆がいなくて困っていることです。

近年、少子化現象が進んでいることや趣味や娯楽の多様化等で、特に若い層の担ぎ手が少なくなっていることです。しかし担ぎ手を増やすために祭りの日を土曜日、日曜日

に変更するか、色々な意見が出るそうですが、どれも一長一短あって実現が難しいようです。

今まで以上に、子ども達や中高生、女性にもお祭りになる程度参加できる雰囲気をつくっていかねばならないのではないのでしょうか。

最後の三つ目は、小須戸喧嘩燈籠の伝統をいつまでも絶やさず守っていつまでもいたいという、みんなの強い要望です。

手の込んだ燈籠の人形作りと各組の男たちの結束力みなぎる燈籠の激しい押し合い。この勇壮な喧嘩燈籠が、脈々と次世代へと受け継がれてきた先人の苦勞に頭の下がる思いです。

この喧嘩燈籠を今の若い人達が大切に守っていかねばせつつかくの伝統が途切れてしまうという事態も考えられるのです。

ある古老が「一年でも喧嘩燈籠を休むともう、なかなか継承しづらくなると思うよ」と、心配そうに話されたのが、印象に残りました。

喧嘩燈籠に参加し、みんなで盛り上げよう

さて、今年の喧嘩燈籠は、最終日が土曜日です。人が大勢いることが、祭りの盛り上

大会の結果

◎下越地区スポーツ少年団総合体育大会バドミントン大会

六月二十四日に湯東村民体育館において開催されました。大会結果

- ◎団体戦
- (中学生女子の部) 一位 小須戸町スポーツ少年団
- (小学生男子の部) 一位 小須戸町スポーツ少年団
- ◎個人戦(シングルス)
- (中学生男子の部) 一位 加藤聖(小須戸町スポーツ少年団)
- (中学生女子の部) 二位 中野美香(小須戸町スポーツ少年団)
- (小学生男子の部) 三位 新井田理奈(赤野町スポーツ少年団)
- (小学生女子の部) 四位 荒井孟史(小須戸町スポーツ少年団)
- ◎個人戦ダブルス
- (中学生女子の部) 一位 井上詩織・保科祐美
- (小学生男子の部) 一位 砂井良介・米田健司
- (小学生女子の部) 一位 松屋翔子・高山あすか
- (小須戸町スポーツ少年団)

◎加茂少年柔道大会

七月二十九日に加茂市下条体育センターにおいて開催されました。

- ◎団体戦(低学年の部) 優勝 小須戸町柔道スポーツ少年団

◎スポーツ少年団 下越地区柔道大会

七月一日(日)に燕市市民研修アリーナにおいて開催されました。

- ◎団体戦
- (小学生女子団体) 三位 小須戸町柔道スポーツ少年団
- (小学生以下団体) 一位 小須戸町柔道スポーツ少年団

◎下越地区スポーツ少年団 総合体育大会剣道大会

七月一日に吉田町総合体育館において開催されました。大会結果

- ◎団体戦
- (小学生高学年の部) 二位 小須戸剣道スポーツ少年団
- (中学生女子の部) 一位 小須戸剣道スポーツ少年団
- (中学生男子の部) 三位 矢代田剣道スポーツ少年団
- (小学生男子の部) 一位 小須戸剣道スポーツ少年団
- ◎個人戦 (敬称略)
- (中学生男子の部) 三位 大矢祥太(矢代田剣道スポーツ少年団)
- 五位 村山孝徳(矢代田剣道スポーツ少年団)
- 以上が県大会出場権獲得

◎小須戸分館 ソフトボール大会

七月八日(日)、小須戸中学校グラウンドにおいて開催されました。

- ◎大会結果
- 優勝 梅チーム
- 準優勝 竹チーム

水田チーム ダントツV2

横水水分館運動会

去る、七月十五日(日)旧横水保育園グラウンドにおいて恒例の横水水分館運動会が開催されました。

当日天気はうだるような暑さでしたが、子どもからお年寄りまで二百五十名余りの参加者が暑さを忘れ無我夢中になって、運動会を存分に楽しみました。



子ども達の歌声が、青空に響きました。

競技種目は豆拾いレースやピン釣りレース、ジュース早飲みレースやザル引きレース、アベックレース等、楽しく参加でき微笑ましいハプニングがいつ起こっても不思議でないレースが続きました。一番盛り上がった競技は、年齢層が違うもの同士が丸となって協力して競い合う綱引きで、優勝した水田チームは、他のチームの追従を許さない強さがありました。運動会の各チームの結果が分ると他のチームは口々に

第五十六回

県展入選作品の紹介(2)



「放春花と親子」



徳永 繁さん(写真)

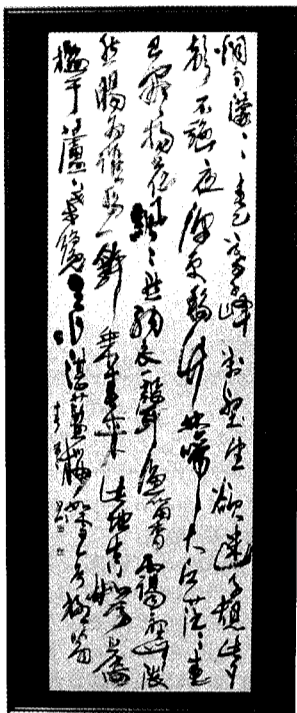
暗いのでレンズ開放で撮りました。ボカシが出て老人を引き立たせた写真です。

「良寛ノ詩三首」



風間 文さん(書道)

今後一層、精進して行きたいと思っております。



チームも優勝を目指して頑張ったほほしいものです。

大会結果

- 優勝 水田チーム
- 二位 小向チーム
- 三位 横川浜チーム
- 四位 文京町チーム

大倉修吾 特別講演会

日時 九月二十二日(土) 午後二時

会場 中央公民館三階ホール
テーマ 「人の縁にて川渡る」
講師 大倉修吾 先生
入場料 五百円

※前売り入場券は、商工会でお求め下さい。
主催 小須戸町産業振興協議会
共催 小須戸町商工会

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。
●九月の相談日
七日(金)・十四日(金)・二十一日(金)・二十八日(金)
●受付時間
午後一時～五時
●電話番号
三八一三三〇〇
◎お名前、言ひなすて下さい。
◎秘密は、固く守ります。

新潟県公民館大会にて 永年勤続職員表彰受賞

小須戸町矢代田分館前分館長の平間安雄さんと小須戸分館副分館長の斉藤正之さんが、永年の公民館活動における功績が認められ、去る七月十八日第五十二回新潟県公民館大会で永年勤続職員として表彰されました。

平間さんは、矢代田分館副分館長から分館長を二十二年間、精力的な分館活動の取り組みが評価されました。

また斉藤さんは、二十二年副分館長として分館長を補佐し、アイデアのある分館活動の取り組みが評価されました。お二人の長年のお骨折に感謝いたします。



前矢代田分館長 平間 安雄さん



小須戸副分館長 斉藤 正之さん



誰でも参加できる おもしろ博士講座

昔話の中には、生きていることの大切さや喜びが、子ども達や、大人達にも示してくれているものが多くあります。肩のこらないお話です。大勢の参加をお待ちしています。

日時 九月十四日(金)

午後七時半～九時

会場 中央公民館 二階和室

講師 栗村節子氏(東京都出身) 白根市立図書館長

参加者募集

◎第七回小須戸町 シングルステニス大会

日時 九月九日(日)午前九時～(雨天 九月十六日)

会場 スポーツ公園テニスコート

種目 男子シングルスA・B 女子シングルスA・B

会費 千円(テニス協会員は無料)

対象 町在住者・在勤者又は、クラブ所属

申込み 九月七日(木)までに中央公民館又はスポーツ公園管理事務所へ

主催 小須戸町テニス協会

◎健康づくり教室 ニュースポーツ

「スポレック教室」開設

スポレックは糸魚川市で考案されたもので、プラスチック製ラケットでスポンジボールを打ち合う手軽なスポーツです。お気軽にご参加下さい。

日時 九月十八日(火)より全三回 午後七時～九時

会場 小須戸町ふれあい会館

対象 一般成人

定員 十五名(先着)

プログラム 表Iの通り

表I スポレック教室プログラム

申込み 中央公民館へ (三八一三三四)

◎ルールは簡単 「グラウンドゴルフ」

やってみませんか

日時 九月二十二日(土) 午前九時半～十一時半まで

会場 親水緑地公園

対象 小学生親子、一般男女

定員 二十名(定員に達した時点で)

申込先 中央公民館へ

九月十日(月)まで

文芸欄

再会の 齢を派手に夏衣 間野良遊

まさなる梅挽ぐその名藤五郎 内山越楼

養生の母のわがまま 坂井隆思

ぼうたんをゆるりと巡る蛇の目傘 馬場綾子

富士晴れてあますか新茶ありがたう 中野太浪

短夜の筆立書けぬペンばかり 丸山栄子

溪流の端に出店のところてん 八木稲子

寂聴の切に生きよと今年竹 高橋みどり

若竹の垣根の外にはみ出せり 井本マツ子

親達が選んだ夫と今の幸 増井都留

欲得へ二者択一の選択肢 高橋ただし

ひと目惚れ妻に選んで五十年 藤井春江

入賞の鉢植え見事花開く 保科志枝

シリーズ 「今、子どもたちは」(60)

暑さなんか負けないぞ 矢代田保育園

「ビックリした」「あー怖かった。」ひと安心して涙ぐんでいる子といろいろな表情を見せていました。子ども達は何にでも挑戦しようとして負けないでガンバっています。

また、年長組から「オバケだぞ」とまっ白に変身した一つ目オバケや、チビッコウレイが登場してきます。部屋を暗くして声色で雰囲気盛り上げてくれます。年少組達を招待して「怖くないよ、怖くない」と、やさしく誘導してオバケの家へ、「キヤー、キヤー」歓声をあげながら退場。



子ども達の元気な姿です。